

		病歴	医療費(円/年)
1988	40歳 (S63)	区の節目健診で肝機能異常を指摘される 非A非B型ウイルス性肝機能障害と診断	
1989	41歳 (H元)	HCV抗体検査によりC型ウイルス性肝硬変と診断	
1992	43歳 (H4)	食道静脈瘤破裂のため緊急入院(63日間) 食道離断術・脾臓摘出手術 手術後、腹水貯留・肝機能低下・腎不全 自宅で肝性脳症発症 肝性脳症・肝機能低下の治療のため入院(71日間) 血中アンモニア値異常の治療のため入院(24日間) 退院後 1ヶ月に1回外来受診	1,800,584
1993	44歳 (H5)	血糖値異常治療のため入院(53日間) 退院後 2ヶ月に1回外来受診	
1994	45歳 (H6)	第1回インターフェロン(IFN)治療(肝硬変患者に対する治験)入院(60日間) IFN-α2a、900万単位、週3回投与開始 退院後週3回IFN投与(平野医院)	1,144,643
1995	46歳 (H7)	IFN治験終了(投与期間9ヶ月)一過性著効 1ヶ月に1回外来受診	
1996	47歳 (H8)	第1回肝がん治療(2cm、1個)入院(52日間) エタノール注入療法(PEIT)4回実施 第2回IFN治療(肝がん再発抑制効果判定の治験)入院(32日間) IFN-α2a、600万単位、28日連投開始 退院後、通院で週3回IFN投与	1,018,864
1997	48歳 (H9)	IFN治験終了(投与期間約6ヶ月)一過性著効 退院後 1ヶ月に1回外来受診	
1998	49歳 (H10)	第3回IFN治療(自費治療)入院(20日間) IFN-α2a、600万単位、週3回投与開始 退院後、自己注射	IFN 自費
1999	50歳 (H11)	IFN-α2a、900万単位、週3回に増量 副作用のため投与終了(投与期間14ヶ月)完全著効	約 2,000,000
2000	51歳 (H12)	1ヶ月に1回外来受診 交互にCTとエコー検査	
2001	52歳 (H13)	第2回肝がん治療(1~2cm、3個)入院(20日間) ラジオ波焼灼療法(RFA)3ヵ所実施 退院後、定期的にエコーとCT検査	
2002	53歳 (H14)	第3回肝がん治療(2cm、1個)入院(8日間) ラジオ波焼灼療法(RFA)1ヵ所実施 1ヶ月に1回外来受診 交互にCTとエコー検査	
2004	55歳 (H16)	第4回肝がん治療(2.5cm、1個) 肝動脈塞栓療法(TAE)実施 入院(12日間) エタノール注入療法(PEIT)実施 入院(11日間) 胸腔鏡・エコー下凍結融解壊死療法実施 入院(9日間)	645,237
2005	(H17)	定期的に内科と外科 外来受診 交互にCT、エコー、MRI検査	224,060
2006	(H18)	定期的に内科と外科 外来受診 交互にCT、エコー、MRI検査	255,850
2007	58歳 (H19)	エコーとCT検査で肝がんの疑い	
	59歳	血管造影検査入院(5日間) 第5回肝がん治療(肝後区域下部に大きく拡がった肝がん)入院(29日間) 肝切除手術実施	(高額医療給付) 382,920
2008	59歳 (H20)	肝細胞がん切除術後 肝不全~多臓器不全 1月22日0時58分 永眠	(高額医療給付) 217,303

注: 医療費欄は、領収書・所得税申告書・申告時計算書等、資料のあるもののみ記載。資料がないものは空欄。